

このシートを見本にして、自分の子どもとの関係で困っていることを書き込んでください。

# みんなで寄せ書き 子育てカフェ

①皆さんは、エピソードに出てくる人のように家庭や家族の事で何か困っている事がありますか？  
困っている事を何か一つ書いてみましょう。

例) 高校1年生の朋子ちゃん。最近、外出の時に、うっすらと化粧をするようになりました。近所の人からこの間、「男の子と手をつないで歩いてたよ」と言われ、ちょっと心配。そんな時、“友だちの家に泊まりに行きたい”と言われました。「どうしたらいいんでしょうか!？」



②用紙を順番にまわしながら、解決策を考えて、寄せ書きしてあげましょう。あわせて励ましやねぎらいの言葉も添えましょう。

例) 思春期の頃の自分を思い出して、親がしてくれたことを思い出したりしています。我が子だと逆に言いにくいことありますが、大切なことは言ってあげたいですね。

あなたの声

あなたの声

あなたの声

あなたの声

③いただいた寄せ書きの中で、心に残ったものを選び、自分の感想をグループの皆さんに紹介しましょう。

— 揺れる思春期の子どもたち —

# 子どもの性への目覚め 「子どもの性に向き合おう」～一人の人間として～



## みんなのルール

- 話をしたくない時は、聞いているだけでもいいですよ。
- うまく話ができなくてもいいですよ。
- 他の人が話している時はみんなで聞きましょう。
- プライベートな話は外へ持ち出さないようにしましょう。
- この時間を楽しみましょう。

## どうしたらいいの??? あるお母さんからの相談です

### エピソード1

中学3年生の息子がいます。最近、彼女ができたようです。彼女のことを聞こうとすると「ただの友だちだから!」と言って、話してくれません。遅い時間の外出やメールを注意しても「関係ねーだろ!」と言うことを聞いてくれません。…いったいどうしたらいいんでしょう…。

### ワーク1

このお母さんへ言葉をかけてあげるとしたら、どんな言葉をかけてあげますか？

## エピソード2

### 「こんなとき どうしますか？」

はやと君は中学2年生。

最近、ちょっとおしゃれに気をつかうようになってきたようです。

今朝も、鏡の前で短い髪の毛にドライヤーをかけています。

眉毛もお手入れをしているようで、お母さんはビックリ。

好きな子もできたようで、携帯でしょっちゅうメールをしているようです。

お母さんとしては、気になってしょうがありません。

“好きな子ができる年令になったんだな～”とは思うけれど、

何をやるにも上の空で、成績も落ち気味。

頑張っていた部活動も最近は、身が入っていない様子。

何か聞いても「うるさい」「かんげーない！」と。

息子にどう接したら良いのか分からなくなってきました。

そんなある日、買い物していると、近所の人から、

「お宅のはやと君、最近よく女の子と歩いているのを見かけるわよ。」

と教えられ、ビックリ…。

「え～?! 本当ですか? 人違いじゃないですよ…?」「確かにあれは、はやと君よ。」

お母さんは、かなり動揺してしまいました。

買い物もそこそこに帰宅すると、お母さんは何も手に付きません。

お母さんは、ショックのあまり、すっかり悩んでしまいました。



## ワーク2

あなたがはやと君のお母さんや家の人だったら、どうしますか？



## ワーク3

はやと君と向き合うきっかけになる言葉をグループで話し合ってみてください。



ファシリテーター進行表（進め方です。参考にしてください。）

5分	担当 ( )	④記入済み“あなたの声”をグループ内で時計回りで回し、可能な限り書き込んでもらう。 ⑤再度回収し、サインが見えるよう裏面にしてテーブルに並べる。	④記入後、「寄せ書きシート」をグループ内で時計回りでまわし、“あなたの声”に応援メッセージを書く。 ⑤記入した「寄せ書きシート」をファシリテーターに渡す。	※説明は担当2が行い、回収・シャッフル・再配布は担当1が行う。 ※記入に差が出た場合は、書き終えた人同士で「寄せ書きシート」をまわしてもらうよう促す。
		<b>おかえりメッセージ</b> ⑥応援メッセージでいっぱいになった「寄せ書きシート」を各自に返す。	<b>かえってきたメッセージを読んでみましょう。</b> ⑥自分の「寄せ書きシート」をテーブルから取る。	※各自の「寄せ書きシート」が確実に手元に返るよう、確認したり配慮を行う。
<p>＜発表＞・「寄せ書きシート」を返した後、コメントを読む時間を少し取り、様子を見ながら待つ。                  ・「寄せ書きシート」をもとに発表してもらう場面をつくる。                  例：時間をかけて記入していた人や“発表しても良いですよ”という表情をしている人に発表を促す。</p>				
<p>ここでの＜ねらい＞は、他の親が抱えている悩みを一緒に考えたり、アドバイスや励ましの声を書き込んだりする活動とおして、客観的に自分や我が子を見つめ直したり、向き合うきっかけを見出したりすることです。</p> 				
まとめ 10分	一斉 & 各自	<b>アンケート&amp;振り返りタイム</b>		
		①アンケート用紙を参加者に配る。	①アンケート用紙を記入する。（自分を振り返る）	準備：アンケート用紙 ※担当1は説明をし、担当2はアンケート用紙を配る。
<b>さようなら&amp;ありがとうタイム</b>				
		①皆さんへ挨拶をする。 ②グループ内でも互いに挨拶を交わしてもらう。	①ファシリテーターの挨拶を聞く。 ②グループ内で互いに挨拶を交わす。	※このプログラムをきっかけに、家庭でも話題にしたり、振り返ってほしいことを告げて終了する。

テーマ	一揺れる思春期の子どもたちー子どもの性への目覚め「子どもの性に向き合おう」一人の人間として			
対象 会場	中学生の保護者 中学校、公民館等			
方法	参加型学習 ※PDCAサイクルを大切に実践する。 (P:計画 D:実行 C:チェック A:改善・行動)			
時間	90分（臨機応変に対応する）			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期と言われる時期の子どもをもつ親同士、共通の思いを共有することで、心の安定をはかれるようにする。</li> <li>・他の親が抱えている悩みについて一緒に考えたり、アドバイスや励ましの声を書き込んだりする活動とおして、客観的に自分や我が子を見つめ直したり、向き合うきっかけを見出したりする。</li> <li>・思春期の特徴を理解した上で、子どもとのかかわりを考える。</li> </ul>			
準備物	＜受付＞ ・名簿 ・名札 ・マジック、ペン ・カラー用紙 ＜テーブル＞ ・『親のみちしるべ』ステージ③のシート（A3 二つ折り） ・子育てカフェ用「寄せ書きシート」（A4） ・アンケート用紙 ・文房具（ワークシート記入用ペン人数分、模造紙、大きめの付箋紙、付箋紙記入用マジック人数分） ・予算があれば軽いお菓子、飲み物等 ・行政発行資料、子育て関係資料等（受付の場所に置いておいても良い） ＜会場全体＞ ・掲示物&ホワイトボード（家庭教育手帳から抜粋したページ等、必要に応じて掲示物を作成する） ・ステージ③を行う際に必要なグッズ（CD、ラジカセ）			
段階	形態	ファシリテーター	参加者	留意点・準備物
受付	各自	※ワークシート、文房具等を準備し、BGMを流す。 1参加者に名札を渡す。 2グループ分け用カラー用紙を取ってもらう。	1名簿をチェックし、名札を受け取る。 2箱の中に入っているカラー用紙を選んで取る。	＜テーブル＞ 準備：ワークシート、模造紙、ペン、マジック、付箋紙、（お菓子） ＜受付＞ 準備：名札（A3用紙を三つ折り）、カラー用紙
はじめ 10分	一斉	よろしくタイム ①担当が開会の挨拶&趣旨説明 ②ファシリテーター紹介⇒自己紹介 （例）「只今紹介されました__と申します。今日は皆様と楽しく有意義な時間を過ごしたいと思います。よろしくお願いいたします。」		
(5分)	担当 ( )	①資料の確認をする。 ②趣旨説明、ルール、活動全体の流れを示し、自己紹介をする。	①資料の確認 ②ファシリテーターの自己紹介を聞く。	※明るく短く分かりやすく。

自己紹介 (5分)	一斉	<p style="text-align: center;">＜ みんなのルール ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話をしたくない時は聞いているだけでもいいですよ。</li> <li>うまく話ができなくてもいいですよ。</li> <li>他の人が話をしている時は、みんなで聞きましょう。</li> <li>プライベートな話は外へ持ち出さないようにしましょう。</li> <li>この時間を楽しみましょう。</li> </ul>		
	担当 ( )	③グループ内で自己紹介してもらおう。 ④思春期について説明をする。少し説明をすることで思春期の子どもに対する親としてのかかわり方について考える時間をもつことを示す。	③互いに自己紹介を行う。 ④ファシリテーターの話を聞く。	※和やかな雰囲気をつくる。 ※思春期の子どもに対する親としてのかかわり方について考える余裕をもってもらえるよう配慮する。
展開1 35分 (10分)	グループ	<p style="text-align: center;">エピソード1 どうしたらいいの??? あるお母さんからの相談</p>		
	担当 ( )	①エピソードを読み上げる。	①エピソードを聞く。	※担当2は担当1が読み上げる声が全体に聞こえているか確認する。
(10分)	グループ	<p style="text-align: center;">ワーク1 「このお母さんへ言葉をかけてあげるとしたら、どんな言葉をかけてあげますか？」</p>		
	担当 ( )	①あるお母さんからの相談を読みあげる。 ②ワーク1の問いかけをする。 ③この相談に対し、少しグループで話をしてもらい、このお母さんにかかる言葉をワークシートに書き込んでもらう。	①相談を聞く。 ②ファシリテーターの問いに対して考える。 ③グループ内で話をしたり、他の人の話を聞いたりして、このお母さんにかかる言葉を考え、ワークシートに書き込む。	※グループごとの雰囲気を把握するため、参加者の表情を見ながら支援する。 <テーブル上確認> 準備：「寄せ書きシート」、ワークシート用ペン ※記入が進まない人がいても無理に書くよう促すようなことはしない。
(10分)	グループ	<p style="text-align: center;">エピソード2 「はやと君は中学2年生。最近ちょっとおしゃれに…」</p>		
	担当 ( )	①エピソードを読み上げる。	①エピソードを聞く。	
(5分)	グループ	<p style="text-align: center;">ワーク2 あなたがはやと君のお母さんや家の人だったら、どうしますか？</p>		
	担当 ( )	②ワーク2問いかけをする。 ③ワーク2の問いかけに対して付箋紙に書き込んでもらう。	②ファシリテーターの問いに対して考える。 ③付箋紙に書き込む。	※消極的な参加者へ目を向け、全員が安心して参加できるよう声をかける。
(5分)	グループ	<p style="text-align: center;">ワーク3 はやと君と向き合うきっかけになる言葉をグループで話し合ってみてください。</p>		
	担当 ( )	①ワーク3の問いかけをし、	①ファシリテーターの問い	

(10分)	担当 ( )	グループで話し合ってもらおう。 ②ワーク3の問いかけに対してグループで話してもらったことを付箋紙に書き込んでもらう。	に対して考え、グループで話し合う。 ②付箋紙に書き込む。	※参加者へ向けて穏やかな笑顔と肯定的な言葉をかけるようにする。
	( )	<p style="text-align: center;">＜発表＞グループで話し合ってもらったことや付箋紙に書かれたことを発表してもらおう場面をつくる。 例：全員が模造紙を見られるように広げて提示してもらったり、発表者が発表しやすいように各グループのまとめ役的な人に発表を促す。</p>		
展開2 35分	<p style="text-align: center;">ここでの＜わらい＞は、思春期の特徴を理解した上で、子どものかかわり方を考えることです。 そして、思春期と言われる時期の子どもをもつ親同士、共通の思いを共有することで、心の安定をはかることです。</p>			
	<p style="text-align: center;">みんなで寄せ書き（子育てカフェ）</p> <p>①自分の困っていることを別紙「寄せ書きシート」に書き込んでもらう。 ②回収し、シャッフルする。（後で返却するため裏面にサインをしてもらう） ③バラバラに再度配り、“あなたの声”に応援メッセージを書き込んでもらう。 ④記入済み「寄せ書きシート」をグループ内でまわし、可能な限り書き込んでもらう。 ⑤個人への返却のため再度回収し、机の上に並べる。（サインが見えるよう裏面にする） ⑥応援メッセージでいっぱいになった「寄せ書きシート」を各自に返す。</p>			
(10分)	担当 ( )	<p style="text-align: center;">寄せ書き “思春期の性”について何か悩み事がありますか？ あなた自身が思い当たる事を別紙シートに書いてみましょう。</p>		
	( )	①枠内を説明し、参加者の皆さんに、「寄せ書きシート」に書いてもらう。 ②記入後、裏面に自分だけ分かるようなサインを記入してもらい、回収&シャッフルする。	①を別紙「寄せ書きシート」に書き込む。 ②記入後、裏面に自分だけ分かるようなサインを記入する。	
(20分)	担当 ( )	<p style="text-align: center;">応援メッセージ “あなたの声”に応援メッセージを書いてみましょう。</p>		
	( )	③バラバラに再度配り、“あなたの声”に応援メッセージを書き込んでもらう。	③再度配られた「寄せ書きシート」の“あなたの声”に応援メッセージを書く。	※記入が進まない人がいても無理に書くよう促すようなことはしない。